



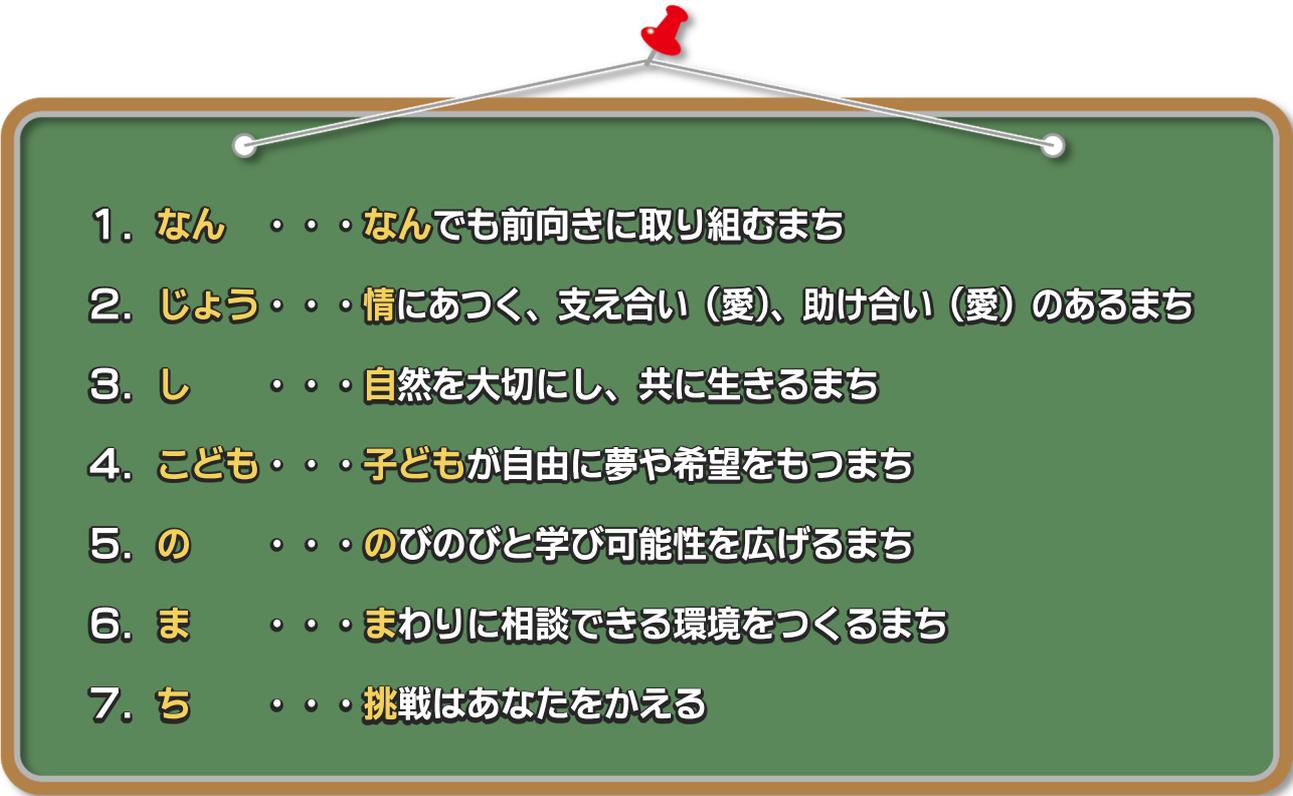


## 目次

南城市こどものまち宣言 .....	1
こどものまち宣言の完成まで .....	2
ワークショップに参加した子どもたちの感想 .....	5
まちのみんなで“子どもたちの可能性”を広げる環境づくり .....	6
こどものまち推進施策の展開で大切にしたいこと .....	7
こどものまち推進施策の視点 .....	8
こどものまち推進施策 .....	13
視点1【つなぎ・つながり】～地域みんなのつながりで子どもを育てる環境づくり～ .....	13
視点2【体験機会・人材の育成】～子どもたちの夢や可能性を広げる環境づくり～ .....	15
視点3【誰一人取り残さない社会】～一人ひとりの多様性を認め合い、共に生きる環境づくり～ .....	18
トライアル ～すでに始動した「こどものまち推進施策」～ .....	21
親育ちプログラムの実施 .....	21
子育て広場“なないろわくわく”の実施 .....	21
子どもたちが関わる児童館運営 .....	21
「おでかけ児童館」の実施 .....	21
計画の推進について ～未来に誇れるまち“南城”を目指して～ .....	22
「こどものまち宣言」及び「こどものまち推進施策」の周知・啓発 .....	22
こどものまち推進施策の実現に向けた体制づくり .....	22
社会情勢の変化に対応した柔軟な取り組みを .....	22
他計画と整合性のとれた推進を .....	22
こどものまち推進施策の進捗管理 .....	23
あとがき ～子どもたちの未来のために～ .....	24
資料編	
たくさん子どもたちがかかわった「こどものまち宣言」の文案づくり ～こどものまち宣言作成の道筋～ .....	25
南城市の子どもを取り巻く現状とニーズの把握 ～令和元年度ニーズ調査について～ .....	31
南城市の子ども関連施策一覧 ～本市の既存事業～ .....	44



## 南城市こどものまち宣言

- 
1. **なん** . . . **なん**でも前向きに取り組むまち
  2. **じょう** . . . **情**にあつく、支え合い（愛）、助け合い（愛）のあるまち
  3. **し** . . . **自然**を大切にし、共に生きるまち
  4. **こども** . . . **子ども**が自由に夢や希望をもつまち
  5. **の** . . . **のびのび**と学び可能性を広げるまち
  6. **ま** . . . **まわり**に相談できる環境をつくるまち
  7. **ち** . . . **挑戦**はあなたをかえる

### “子どもたちの言葉”から紡ぎ<sup>つむ</sup>編み出された宣言

「南城市こどものまち宣言」は、市内の小中高生から寄せられた一人ひとりが大切にしている“言葉”をもとに、ワークショップに参加した子どもたちが話し合いを重ね作り上げました。

子どもたちの多くの言葉から紡ぎ編み出された宣言には、本市の子どもたちの多様な「想い」が盛り込まれています。



この宣言は、  
子どもたち自身の宣言にも見えるし、  
大人たちへのメッセージにも見える  
「ハイブリッド型の宣言」だなん♪



# こどものまち宣言の完成まで

こどものまち宣言を作るにあたって、多くの市民が共感し、皆で力を合わせて子どもに優しいまち南城市を目指すための宣言となるよう、①子どもたちの手で作る“こどものまち宣言”、②市民が参加する“こどものまち宣言”の2つを重要なポイントとして位置づけました。

市民や子どもたちが宣言づくりに関わる機会を設け、本市の小・中・高校生の子どもたちと3回にわたってワークショップを重ね、子どもたちの手によって“こどものまち宣言”を作り上げました。

## 子どもの参加：キーワード集め

募集期間：令和2年8月～9月

こどものまち宣言は、本市の子どもたちから宣言の種になる「大切にしたい言葉」「好きな言葉」を集めました。宣言の種集めにあたっては、各学校を通じた依頼のほか、困り感を抱える子どもたちの関係者を通じた依頼、児童館への依頼、インターネットを活用した種集めを行い、約1,100のキーワードが集まりました。

集まったキーワードは、第1回ワークショップに向けテーマごとに分類し、「がんばれ」「すごい」「大丈夫」「みんなで」「ありがとう」「未来」「個性」「楽しい」「その他」の9つのテーマに分類しました。

**こどものまち宣言のせつめい**

「じつは・・・」  
南城市では、来年（令和3年度）、「こどものまち宣言」を予定しているんだ！

「それで・・・」  
南城市の子どもみんなが未来に向かって輝いていけるような宣言文をつくるんだ！

「だから・・・」  
みんなのコトバを集めたいんだ！

「というわけで・・・」  
みんなが「好きなコトバ」、「わくわくするコトバ」、「元気になるコトバ」、「勇気が出るコトバ」をかいてほしいんだ！

**わくわくの種あつめ！**  
まってるなん！

南城市子育て支援課 こどものまち宣言プラン策定事業

おせて

**南城市のこどものまち宣言にみんなのコトバをあつめるなん！**

キミのことをいろいろと、聞かせてほしいなん！

きみは、どっちな？ 下から選んで○をつけてね！

自分の「好きな場所、心地よい場所」はどこ？

①「なんだか「未来は楽しみ」だよ」  
②「なんだか「未来は不安」だよ」  
③「楽しいと不安と、両方」だよ  
④「未来って考えたことないから、わからないなあ」

“大人になったらやりたいこと”は何か？

“幸せだなあ”ってかんじるのはどんなとき？

そんなおの、【好きなコトバ】を聞かせてほしい。おれが元気になったり、勇気が出たり、やる気になったり、ホッとしたり、安心したり、わくわくしたりするコトバ。

この枠に書いてね！

昔の歌でも、マンガのセリフでも、友達がいっぱいコトバでも、何でもいっしょ！

みんなの好きな言葉を書きながら、「こどものまち宣言文」をつくっていきよ、

うら

## ワークショップ1：こどものまち宣言に入れたいキーワードを考える

実施日：令和2年10月10日（土）

参加者：16名（小学生1名、中学生12名、高校生3名）

ワークショップ1では、本市の子どもたちから集まった宣言の種となるキーワードから、大事だと思うキーワードを抜き出し、文章にまとめるワークショップを行いました。

参加者が4グループに分かれ、それぞれのグループでいいなと思うテーマに基づいた約50の文章を作成しました。



## 市民の参加：キーワードへのシール貼り

実施期間：令和2年10月～11月

市内の小中学校や商業施設、市役所等において、ワークショップ1の後まとめ上げたこどものまち宣言に盛り込みたい文章を展示し、共感できる文章にシールを貼ってもらい、3,500以上の“いいね”シールが集まりました。多くの市民や子どもたちに取り組みを知ってもらう機会となりました。



## ワークショップ2：こどものまち宣言の案を考える

実施日：令和2年11月21日（土）

参加者：15名（小学生1名、中学生11名、高校生3名）

ワークショップ2では、宣言に対する大人の想いや大切にしたいことなどについて話し合った後、宣言の案づくりを行いました。ワークショップ1で作成した文章や展示した文章への“いいね”シールの結果を参考にし、特に伝えたいメッセージや、市民への伝わりやすさなどを踏まえながら意見を出し合い、次回のワークショップまでに1人1案ずつ宣言の案を持ち寄ることにしました。



## ワークショップ3：こどものまち宣言をまとめ上げる

実施日：令和2年12月12日（土）

参加者：14名（小学生1名、中学生10名、高校生3名）

ワークショップ3では、それぞれが考えてきた案を基に宣言をまとめ上げていきました。初めは小さなグループごとに話し合いを始め、徐々にその話し合いが大人数になり、最後は全員でホワイトボードを囲みながら、宣言づくりを行いました。

子どもたちが自分たちの考えをしっかりとぶつけ合い、大人ともディスカッションしながら、自分たちの想いを盛り込んだ宣言が完成しました。



## ワークショップに参加した子どもたちの感想

こどものまち宣言づくりに参加した子どもたちからは、宣言づくりを通して得られたことや大事だと感じたこと、宣言に込められた想いをどのように実現していくかなどについて、熱い想いが寄せられました。

新しい友人も増え、いろんな世代の人たちの意見などが聞けて良かった。

普段考えることのない、自分の住むまちについて、じっくり考え意見を交わすことができ、とても楽しく学びがあった。

個人個人がこの宣言を意識して行動していくことが大切だと思う。

いろいろな人の意見を取り入れることで南城市が一丸となっていくような宣言が作れるんだなと思った。

人と協力して初めてのものをつくっていく中で、ワクワクすることができた。

みんなで自分の意見を出し、互いの意見も踏まえながら宣言をつくることは初めての経験だったので良かった。

宣言をたくさんの人に知ってもらい、協力一体化することが、実現するために大切なことだと思う。

自分が思っていることを相手がわかりやすく伝えるとコミュニケーションがうまくいく。

大人だけ、子どもだけでなくみんなが宣言を実現しようとするのが大切になると思う。

まずは自分の意識や行動から変えていくことが大切。

1つ1つの言葉の意味を考え、受け止め、普段から意識することが大切。

# まちのみんなで“子どもたちの可能性”を広げる環境づくり

子どもたちは無限の可能性を秘めています。一人ひとりの子どもたちは、それぞれの世界観の中で、日々奮闘しています。子どもたちがさらに成長していくためには、様々な体験機会や多くの人との出会い等が大切です。

子どもたちが自分らしく輝くためには、家庭、地域、企業、行政、市民等が連携した取り組みを進めていく必要があります。こどものまち宣言で掲げた未来を実現するため、子どもと大人が共に考え成長しながら、子どもたちの可能性を広げるための環境づくりを進めていきます。



市民一丸となって、  
連携して取り組むなん♪



## こどものまち推進施策の展開で大切にしたいこと

### 地域全体での取り組みを推進し地域の“絆”を深める

「南城市こどものまち宣言」は子どもたち自身が望む未来の姿であると同時に、大人たちの抱く南城市全体の理想の姿です。「こどものまち推進施策」は、これらを踏まえた取り組みが望まれます。

令和元年度の「南城市こどものまち宣言ニーズ調査」では、「地域のつながりや、行政及び子どもに関係する組織の連携が不足している」という意見が多い一方、南城市の良いところ（好きなどころ）として、「都会過ぎず、地域のつながりが残っているところ」という意見もあることから、行政や関係機関を含む地域全体での取り組みを推進することで、地域の絆を深めます。

### 子どもたちとともに推進し自己肯定感を育む

南城市の子どもたちの自己肯定感は、全国平均と比べて低く、県平均と比べても高いとはいえません現状となっています。

また、令和元年度の「南城市こどものまち宣言ニーズ調査」では、子どもたちに必要な取り組みとして「様々な体験機会」を望む意見がありました。

「こどものまち宣言」が子どもたちの手によって作り上げられたことを踏まえ、「こどものまち推進施策」の展開においても積極的に子どもたちの参画を推進し、多くの人との関わりや経験を積み重ねることで自己肯定感を育みます。

※自己肯定感とは、自分のあり方を積極的に評価できる感情、自らの価値や存在意義を肯定できる感情などを意味します。

### 南城市の新たな挑戦

「こどものまち宣言」の「7. 挑戦はあなたをかえる」は、子どもも大人も挑戦していくことで新しい自分になっていこうという願いを込めたものです。こどものまち宣言で目指す理想像は、次代を担う子どもたちが可能性を広げ、健やかに成長し、未来に誇れるまち“南城”へなるためのものです。



## こどものまち推進施策の視点

「南城市こどものまち宣言ニーズ調査」の結果及び「こどものまち宣言」を踏まえ、以下の3つの視点を重視した“こどものまち推進施策”を展開します。

こどものまち推進施策の実施期間は、令和3年度から令和6年度までの4年間とします。

### こどものまち推進施策の視点



## 視点1【つなぎ・つながり】

### ～地域みんなのつながりで子どもを育てる環境づくり～

子どもが地域に愛着を持ち、地域の人とのつながりの中で育つことは、協調性や社会性、支え合いの心を育むうえで大切です。本市の良いところとして「地域のつながりがあるところ」という意見がある一方で、「地域のつながりが希薄化している」という意見もあり、自治会の加入率や地域行事への参加率が低下しているという実情があります。

子どもたちが作り上げた「こどものまち宣言」でも、「2. 情にあつく、支え合い（愛）、助け合い（愛）のあるまち」が謳<sup>うた</sup>われており、地域でのつながりや支え合いが大切と捉えていることが伝わってきます。

子どもたちを地域のつながりの中心に据えて、支え合いや世代間の交流などを通して、ネットワークを強化し、家庭・地域・企業・行政・市民それぞれが“自分たちにできること”を考え、主体的に取り組む環境づくりを推進します。

また、子ども関連の取り組みを行っている関係者からは、関係者間の連携強化が求められていることから、一層の充実を目指します。

## 視点2【体験機会・人材の育成】

### ～子どもたちの夢や可能性を広げる環境づくり～

子どもたちの可能性は無限大であり、「面白そう」、「不思議だな」、「かっこいい」、「やってみたい」などといった興味の範囲を広げ、様々な体験を通して、失敗や成功を経験することが大切です。子育て家庭においても、子どもには「様々な体験をさせたい」という意見があります。また、様々な体験は、未来への可能性を広げるほか、小さな成功体験の積み重ねによる“自己肯定感の向上”にもつながります。

「こどものまち宣言」でも、「4. 子どもが自由に夢や希望を持つまち」、「5. のびのびと学び可能性を広げるまち」が謳<sup>うた</sup>われており、夢や希望を持つことや、可能性を広げる環境づくりが求められています。さらに、「1. なんでも前向きに取り組むまち」、「7. 挑戦はあなたを変える」という自己肯定感の高さが鍵になる言葉もあり、子どもの自己肯定感を高める取り組みも必要です。

子どもの夢や可能性を広げ、主体性を育むために、様々な体験機会の創出のほか、子どもがまちづくりに参画する機会、遊び場や学びの機会の充実を目指します。

### 視点3【誰一人取り残さない社会】

～一人ひとりの多様性を認め合い、共に生きる環境づくり～

「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」では、子どもたちの生まれ育った環境に左右されることなく、すべての子どもが等しく生きる権利、等しく育つ権利、等しく守られる権利、等しく参加する権利が保障されています。一人ひとりの子どもが心身ともに健やかに育ち、教育をはじめとする様々な機会が等しく保障されるためには、多様性を認め合い、夢や希望に向かっていける環境づくりが必要となります。

「こどものまち宣言」でも、「3. 自然を大切にし、共に生きるまち」、「6. まわりに相談できる環境をつくるまち」が謳<sup>うた</sup>われており、多様性を認め合い、気軽に相談できる環境をつくることにより、誰一人取り残さないという想いが込められています。

誰一人取り残さない社会の実現に向けては、地域共生社会についての理解や啓発、子どもたち一人ひとりの声を聴き、誰もが安心して暮らしていくための支え合いなど、すべての子どもたちが自分らしく生きていくことのできる環境づくりを行います。



子ども



こどものまち宣言  
が目指すもの



大人



こんな人に・・・

- 様々なものに興味を持つ
- 自らつながる
- 体験する
- 主体的に
- 自分らしく
- 挑戦する・行動する
- 相談する

前向きに  
情にあつく  
支え合い・助け合い  
自然を大切に  
共に生きる社会  
夢や希望  
のびのびと学ぶ  
可能性を広げる  
相談できる  
挑戦する

こんな地域に・・・

- 地域でつながる・連携する
- 多様性を認め合う
- 体験機会をつくる
- 気にかける・見守る
- それぞれが役割を発揮する
- 相談にのる



子どもたちの輝く未来を育む



市で大切にしたいこと

絆を深める 自己肯定感を高める

3つの視点

つながり・つながり

体験機会・人材の育成

誰一人  
取り残さない社会

こどものまち  
宣言

令和元年度  
ニーズ調査

子どもたちの笑顔でまちが輝く

こどものまち推進施策

視点1 つながり・つながり

Act1-1 子どもたちとつくる、地域のつながり

Act1-2 人と人をつないでいく、子どものためのネットワーク拡充

視点2 体験機会・人材の育成

Act2-1 子どもたちがまちづくりに参画する機会づくり

Act2-2 子どもの可能性を広げるための、様々な体験機会の創出

Act2-3 のびのびと成長するための、遊び場や学びの機会の確保

取り組み

視点3 誰一人取り残さない社会

Act3-1 「共に生きる社会」について知り、多様性を認め合う意識の向上

Act3-2 「声を聴く」、「声を届ける」環境の充実

Act3-3 誰もが安心して暮らしていくための、支え合い・助け合いの充実

子ども関連既存施策

# こどものまち推進施策

## 視点1【つなぎ・つながり】～地域みんなのつながりで子どもを育てる環境づくり～

### Act1-1 子どもたちとつくる、地域のつながり

#### 基本的な方向性

子どもたちを地域のつながりの中心に据え、世代を超えた交流による笑顔あふれる地域づくりを推進し、見守り、支え合い、助け合いを経験することで、子どもたちが地域の良さに触れ、豊かな心が育まれるよう努めます。

#### 【取組一覧】

取組	内容
①地域支え合いへの参加促進	・子どもたちが地域のつながりや支え合いの取り組みに参加する機会を確保します。
②コミュニティ・スクールの実施	・学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めます。
③ムラヤーを中心とした地域のつながりの拡充	・ムラヤーを活用し、子どもを中心としたつながりづくりを推進します。

※「ムラヤー」とは、区・自治会及びその中心となる自治公民館をさします。



## Act1-2 人と人をつないでいく、子どものためのネットワーク拡充

### 基本的な方向性

子どもの未来のために、地域全体で様々な取り組みを進めていくにあたり、市内の関係機関や団体、市民、企業等が「子どものために」を合言葉に、横断的な連携をはかり、情報共有に努めます。

また、それぞれの立場で子どものための取り組みが芽生えていくよう「できること」から始めていきます。

### 【取組一覧】

取 組	内 容
①ネットワークの強化による 情報共有	・行政と関係機関、区・自治会、地域団体、企業などとのネットワークを強化することで情報共有をはかり、子どもの成長を見守るよう努めます。
②プラットフォーム※の設置	・様々な立場の人が集い、子どものための取り組みを推進するプラットフォーム（しゃべり場）を設けます。
③子どもの声を聴く機会の拡 充、意識啓発	・子どもに関連する施策を検討及び実施する際に、可能な限り子どもの視点に立った施策を推進します。

※「プラットフォーム」とは、列車へ乗り降りする場所を示すことから、最近では「土台・基盤」という意味合いで使用されるようになってきました。様々な人やグループ、団体、組織、企業や地域等の枠を超えて、参加したいときや必要なとき、それぞれ参画する仕組みをプラットフォーム型と言います。



## 視点2【体験機会・人材の育成】～子どもたちの夢や可能性を広げる環境づくり～

### Act2-1 子どもたちがまちづくりに参画する機会づくり

#### 基本的な方向性

子どもたちが、まちづくりに対する参画意識を高め、主体的に地域のことを考えた提案や実践をすることで、「自分たちの意見で“未来をつくっている”」という実感と達成感を得られるよう努めます。

#### 【取組一覧】

取 組	内 容
①（仮称）こどものまち推進委員会の実施	・子どもたちを中心とした集まりを開催し、こどものまち推進施策の具体的な取り組みについて検討を行います。 また、推進委員会では、こどものまち宣言の周知・啓発に関する取り組みも行います。
②こども版上がり太陽プランの実施（こども提案型の設置）	・まちづくりにつながる施策立案について、子ども目線での提案機会を創出します。
③子ども議会の実施	・児童生徒が子ども議員となって参画する子ども議会を開催します。
④子どもの参画についての周知・広報	・子どもの参画を推進するための基本的考え方について、周知・広報をはかります。



## Act2-2 子どもの可能性を広げるための、様々な体験機会の創出

### 基本的な方向性

子どもたち一人ひとりの可能性や興味を広げ、豊かな人間性や社会性を育めるよう、自ら主体的に関わる体験機会を創出します。

### 【取組一覧】

取 組	内 容
①市内の資源活用等による自然・文化・歴史体験機会の創出	・市内の既存資源の活用、団体等との連携による自然・文化・歴史体験機会を創出します。
②市内の産業と連携した仕事体験や経済を学ぶ機会の創出	・市内の産業や企業等と連携し、子どもたちが商品の制作・販売などを体験する機会を創出します。 ・子どもたちの将来を見据え、「働くこと」、「お金」、「経済」について学ぶ機会を創出します。
③ICTを活用した体験機会の創出	・ICTを活用した情報発信、交流機会、WEB上での仮想体験などの機会を創出します。



## Act2-3 のびのびと成長するための、遊び場や学びの機会の確保

### 基本的な方向性

遊び場や学びの場の充実をはかり、親と子がともに成長する環境づくりに努めます。

### 【取組一覧】

取 組	内 容
①魅力ある公園づくり	・公園が子どもの遊び場であるとともに、世代を超えた市民が集う、魅力ある場づくりに努めます。
②自然を活用した遊び体験機会の提供	・市内の豊かな自然を活用した冒険遊び等の体験機会を創出します。
③放課後の居場所における体験機会の充実	・児童館、放課後児童クラブ、ムラヤー等での体験機会を創出します。 ・放課後子ども教室を活用し、子どもたちの体験機会創出のため、プログラムの充実をはかります。
④将来へのイメージが広がる機会の提供	・本市出身の先輩や著名人の講話等を開催し、子どもたちの将来へのイメージが広がる機会を提供します。
⑤市立図書館の充実	・書籍の充実のほか、図書館が「親子で楽しく集える場」となるよう市立図書館の充実を図ります。
⑥親育ちプログラムの実施	・「子育ては親育ち」を合言葉に、親育ちにつながるプログラムを実施します。

### 視点3 【誰一人取り残さない社会】 ～一人ひとりの多様性を認め合い、共に生きる環境づくり～

#### Act3-1「共に生きる社会」について知り、多様性を認め合う意識の向上

##### 基本的な方向性

子どもの人権を保障し、一人ひとりが自分らしく生き、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、多様性を認め合う社会についての理解を深める取り組みを行います。

##### 【取組一覧】

取組	内容
①地域共生社会の理解・啓発	・市社会福祉協議会等と連携し、福祉教育を通して「地域共生社会」(共に生きる社会)についての理解・啓発を行います。
②多様性を認め合う講演会の実施	・様々な困難に向き合う人や乗り越えた人の講演会を実施します。



## Act3-2「声を聴く」、「声を届ける」環境の充実

### 基本的な方向性

子どもたちの不安や困りごとなどに耳を傾け、助言や支援へとつなぐ体制の充実をはかります。

### 【取組一覧】

取 組	内 容
①相談及び支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・行政や学校等において気軽に相談できる環境づくりに努めます。</li><li>・支援が必要な子どもたちに、適切な支援を届ける仕組みづくりに努めます。</li><li>・相談窓口の周知・広報に努めます。</li></ul>
②子どもたちの関心ごとに関心を寄せる意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの声を聴き、子どもの関心ごとに関心を寄せるよう、大人の意識啓発を行います。</li></ul>



## Act3-3 誰もが安心して暮らしていくための、支え合い・助け合いの充実

### 基本的な方向性

困り感を持つ子どもや家庭への支援について、行政による支援のほか、NPO等によるインフォーマルなサービスも含めて、必要な支援が必要な人に届くよう努めます。

### 【取組一覧】

取 組	内 容
①子育て家庭の孤立防止	・ 子育て家庭とのつながりの機会を確保し、切れ目のない支援体制を整え、孤立防止に努めます。
②地域での子ども・子育て家庭の見守り	・ 子どもや子育て家庭に目を向け、日頃から声かけを行う等、つながりを大切にした地域での見守り体制を目指します。



## トライアル ～すでに始動した「こどものまち推進施策」～

「できることから始めよう」を合言葉に、本市では、令和元年度南城市こどものまち宣言ニーズ調査を踏まえ、すでに開始している取り組みもあります。

### 親育ちプログラムの実施

子育てに関するアドバイスのほか、親の成長をサポートする「親育ち」につながる取り組みが重要です。ニーズ調査においても、「親育ち」の取り組みを望む意見がありました。

このような意見を受けて、令和2年度より、大里中央児童館で子育て中の親への情報提供や子育てに関する講座などを開催しています。

### 子育て広場“なないろわくわく”の実施

南城市社会福祉協議会が実施していた「子育てサロン」は、乳幼児を持つ子育て家庭の交流の場、相談の場として利用されてきましたが、平成29年度で事業終了となりました。しかし、ニーズ調査においては、育休中の方や市外・県外出身者などの交流及び孤立防止の機会として、再開を望む意見がありました。

このような意見を受けて、令和2年度より、未就学児の親子を対象とした様々なイベントを市内7ヶ所の児童館で開催しています。

### 子どもたちが関わる児童館運営

児童館では、子どもたちがイベントの企画、運営を行っています。子どもたちの可能性を広げるためには、様々な体験を通して、失敗や成功を経験し、主体性や協調性を身に付けることが大切です。今後も、子どもたちが主体となり児童館運営に参画する仕組み作りを進めていきます。

### 「おでかけ児童館」の実施

子どもの居場所の確保及び遊びの提供のため、ムラヤー等を活用したおでかけ児童館を実施しています。地域と協力し合い、子どもたちの健全育成の場及び子育て支援、また地域と子どものつながりの場として、楽しい空間づくりを目指しています。



## 計画の推進について ～未来に誇れるまち“南城”を目指して～

### 「こどものまち宣言」及び「こどものまち推進施策」の周知・啓発

こどものまち宣言を高らかに宣言した後は、家庭、地域、企業、行政、市民等が協働し、継続して取り組むことが重要です。そのため、様々な広報手段を活用し、「こどものまち宣言」や「こどものまち推進施策」の周知・啓発に努めます。また、「(仮称) こどものまち推進委員会」を開催し、子どもたちによる周知・啓発を推進していきます。

### こどものまち推進施策の実現に向けた体制づくり

こどものまち推進施策の実現に向けては、体制づくりが重要です。行政においては、関係部署間の横断的な連携を密にし、体制の強化を目指します。また、行政外での体制の充実強化をはかるため、様々な立場の人が集い、子どものための取り組みを推進するプラットフォームを設けます。そこに集う仲間達が、子どものために知恵を出し合い、子どもたちとともに何ができるのかを考え、将来的には、市民・地域主導のプラットフォームとなることを目指します。

### 社会情勢の変化に対応した柔軟な取り組みを

こどものまち推進施策は、人と人とのつながりや様々な活動を通して、触れ合い、支え合うことが鍵となる取り組みが多く掲げられています。

現在は、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えず、今後の予測がつきづらい状況ですが、社会情勢の変化に柔軟に対応し、こどものまち推進施策に取り組んでいきます。

### 他計画と整合性のとれた推進を

本市の最上位計画である第2次南城市総合計画及び個別分野別の行政計画との整合性をはかりながら、子どもに優しいまちづくりを推進していきます。



## こどものまち推進施策の進捗管理

こどものまち推進施策で掲げた取り組みについては、毎年度実施状況を取りまとめて進捗管理を行うほか、有識者等からの意見をもらい、実情に応じて施策の改善をはかります。また、必要に応じて子どもたちの意見を聴き、施策に反映していきます。



## あしがき ～子どもたちの未来のために～



### 子どもと共に大人も成長する“こどものまち宣言”

子どもたちの多様な想いが込められたこどものまち宣言は、子どもに優しいまちづくりを目指すための素晴らしい宣言となりました。

宣言に込められた想いを胸に、子どもと大人が共に考え行動し成長することが、子どもたちの輝く未来を育むことに繋がります。そのためには、行政や関係機関を含む地域全体で子ども達のための取り組みを推進し、地域の“絆”を深めることが大切です。

未来を担うすべての子どもたちが、お互いに多様性を認め合い、自由に、のびのびと、自分らしく成長することで、子どもたちの笑顔があふれ、まちが輝きます。

こどものまち宣言を通して、幸せな自分を思い描く、そのような子どもたちが育つ南城市にしたいと思っています。ぜひとも、市民一丸となって「こどものまち南城」をつくりあげていきましょう。

南城市長 瑞慶覧 長敏



### 子どもたちがつくった“こどものまち宣言”

市内の子どもたちが出した 1,000 以上の言葉をもとに、大人ではなく子どもたちが文章を作りました。この宣言をきっかけにスタートする取り組みも、子どもたち自身が中心になります。無論、大人たちも動きますが、子どもたちの取り組みを応援し支える形になります。

“こどものまち”づくりは、大人たちによる南城の地域づくりと響き合います。子どもたちは進学就職などをきっかけに南城市外に出るかもしれません。しかし、“こどものまち”づくりを体験することで、南城を支援しつつ、Uターンすることが増えるでしょう。この取り組みの評判が各地に広がり、南城に魅力を感じて、南城にIターンする子どもや大人が増えるかもしれません。取り組みが豊かになることで、子ども相互の、さらに大人相互のつながりが広がり深まっていくことでしょう。そのなかで、グローバル&ローカルな南城がつくられ、それを担う人材が育っていくことでしょう。

南城市こどものまち宣言策定委員長 浅野 誠







# たくさん子どもたちがかかわった「こどものまち宣言」の文案づくり ～こどものまち宣言作成の道筋～

## 1. 子どもたちから集めたキーワードのテーマ分類（使用した資料）

南城市こどものまち宣言づくりワークショップ 宣言文の種類シート テーマ①「がんばれ系」

**南城市こどものまち宣言  
宣言文の種  
テーマ①「がんばれ系」**

南城市の子どもたちから集めた宣言文の種となるキーワードのうち、「がんばれ」「負けるな」「あきらめない」などの自分や相手を鼓舞する言葉を集めています。

たくさんできた言葉  
「がんばれ」「がんばろう」「努力」「やればできる」「あきらめない」「ファイト」「レッツゴー」「挑戦」「一生懸命」「熱くなる」「全力」「必勝」「一所懸命」「気合い」

南城市こどものまち宣言づくりワークショップ 宣言文の種類シート テーマ②「すごい系」

**南城市こどものまち宣言  
宣言文の種  
テーマ②「すごい系」**

南城市の子どもたちから集めた宣言文の種となるキーワードのうち、「すごい」「さすが」「いいね」などの自分や相手をほめる、たたえる言葉を集めています。

たくさんできた言葉  
「すごい」「おつかれー」「ナイス」「さすが」「じょうず」「世界一」「いいね」「がんばったね」

南城市こどものまち宣言づくりワークショップ 宣言文の種類シート テーマ③「大丈夫系」

**南城市こどものまち宣言  
宣言文の種  
テーマ③「大丈夫系」**

南城市の子どもたちから集めた宣言文の種となるキーワードのうち、「大丈夫」「あなたならできる」などの自分や相手を安心させる、はげます、認める言葉を集めています。

たくさんできた言葉  
「大丈夫」「安心」「信じる」「認める」

南城市こどものまち宣言づくりワークショップ 宣言文の種類シート テーマ④「みんなで系」

**南城市こどものまち宣言  
宣言文の種  
テーマ④「みんなで系」**

南城市の子どもたちから集めた宣言文の種となるキーワードのうち、「みんなで」「一緒に」「友情」などのみんなで、一緒に何かをしようという言葉を集めています。

たくさんできた言葉  
「ワンチーム」「友だち」「友情」「絆」「一致団結」「協力」「チームワーク」「一緒に」「みんなで」

南城市こどものまち宣言づくりワークショップ 宣言文の種類シート テーマ⑤「ありがとう系」

**南城市こどものまち宣言  
宣言文の種  
テーマ⑤「ありがとう系」**

南城市の子どもたちから集めた宣言文の種となるキーワードのうち、「ありがとう」「たくさんの方の支え」「身近な幸せ」「優しさ」などの感謝の心や、支え、優しさに関する言葉を集めています。

たくさんできた言葉  
「ありがとう」「一人じゃない」「家族」「thank you」「どんまい」「助け合い」

南城市こどものまち宣言づくりワークショップ 宣言文の種類シート テーマ⑥「未来系」

**南城市こどものまち宣言  
宣言文の種  
テーマ⑥「未来系」**

南城市の子どもたちから集めた宣言文の種となるキーワードのうち、「未来」「自由」「夢」などの未来への夢や希望、自由に関する言葉を集めています。

たくさんできた言葉  
「明日がある」「夢」「ドキドキ」「希望」「命」「自由」「想像」「改心」「未来」

南城市こどものまち宣言づくりワークショップ 宣言文の種類シート テーマ⑦「個性系」

**南城市こどものまち宣言  
宣言文の種  
テーマ⑦「個性系」**

南城市の子どもたちから集めた宣言文の種となるキーワードのうち、「自分らしさ」「自分の好きなことを信じて」などの1人ひとりの自分らしさや個性を大切にすることに関する言葉を集めています。

たくさんできた言葉  
「自分らしく」「個性」「美」「素直」

南城市こどものまち宣言づくりワークショップ 宣言文の種類シート テーマ⑧「楽しい系」

**南城市こどものまち宣言  
宣言文の種  
テーマ⑧「楽しい系」**

南城市の子どもたちから集めた宣言文の種となるキーワードのうち、「楽しい」「笑顔」「元気」「好き」などの明るく前向きな気持ちに関する言葉を集めています。

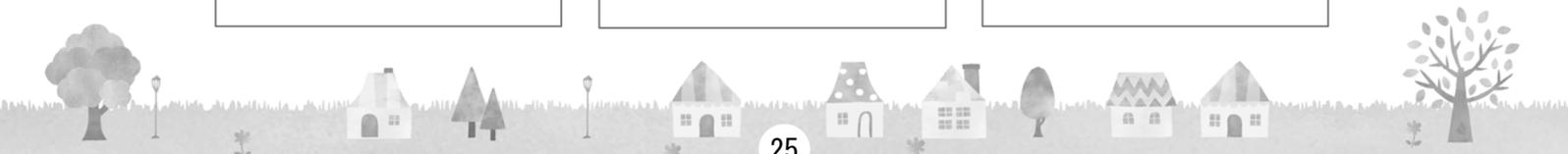
たくさんできた言葉  
「スマイル」「あそぼう」「笑顔」「幸せ」「大好き」「楽しい」「愛」「ワクワク」「ニコニコ」「爆笑」「happy」「うれしい」「今が大事」

南城市こどものまち宣言づくりワークショップ 宣言文の種類シート テーマ⑨「その他系」

**南城市こどものまち宣言  
宣言文の種  
テーマ⑨「その他系」**

南城市の子どもたちから集めた宣言文の種となるキーワードのうち、これまでの分類にあまりあてはまらない言葉を集めています。

たくさんできた言葉  
「忘れない」「平和」





### 3. ワークショップに参加した子どもたちのふりかえり

#### ①ワークショップに参加しての感想

たくさんの仲間といろいろディスカッションして宣言づくりができていい経験になりました。

今回のワークショップに参加することで、南城市の今の現状を知るとともに課題について考える、とてもいい機会になりました。

新しい友人も増え、いろんな世代の人たちの意見などが聞けて良かった。

最初はどのようなことをやるのかわからなく、自分はコミュニケーションが苦手な話に入れるか心配だったけど、実際やってみると、思ったよりはできて良かったです。宣言づくりで他の人の意見を聞いていろんな人の意見を知ることができて良かったです。この経験を活かしてまたこのような場の時に他の人の意見を尊重できるようにしたいです。

南城市に住んでいて、よりよいまちにするために行動にうつしたことはありませんでしたが、今日の「こどものまち宣言」のワークショップに参加させていただいて、数ある改善点、目標の中から、より一層実現させたい、市民の方々に子どもの私たちだからこそ注目できたことを宣言として形に残せたので、本当に充実した時間を過ごすことができたなと思いました。

今回参加してみて思っていたよりも難しく完成できるか不安でしたが、ワークショップの中でさまざまな意見が出て、「こんな考えもあるんだ」とたくさん刺激をもらったり、実際に励まされる良い言葉にも出会えて、自分を成長させるとても良い機会になりました。本当にありがとうございました。

普段考えることのない、自分の住むまちについて、じっくり考え意見を交わすことができて、とても楽しく学びがありました。今後の生活にも活かしていきたいと思います。

今回のワークショップに参加して、自分の身のまわりのことや南城市について考えることができて、とても嬉しかったです。

自分の意見を積極的に言えるようになって自分自身成長できたのでよかったですと思いました。

みんなと話し合いながら宣言をつくるのが楽しかった。

みんなですべてのものを決めるというのは大変でしたが、他校の生徒や南城市役所の職員たちとの交流ができたので良い機会をもらったなあと感じた。

いろんな人の意見を聞いたりして、意見交換をすることでみんなと仲良くなれて良かったです。

みんなで自分の意見を出し、互いの意見もふまえながら宣言をつくることは初めての経験だったので良かった。



## ②宣言づくりで大事だと感じたこと

人と協力して初めての物をつくっていく中で、自分自身もワクワクすることができたので、それをみんなに伝えていくことが大事だと思います。

宣言をつくるだけでなくそれを叶えるために、これからも積極的に活動することが大事だと思いました。

南城市の人たちが1つになることが大事だと感じました。

いろいろな人の意見を取り入れることで南城市が一丸となっていくような宣言がつくれるんだなと思いました。

深刻な問題のみをとりあげるのではなく、明るくするための視点も大切だなと思いました。また、考えすぎて複雑な文にするのではなく、市民の方々、誰が見ても伝わるようにすることも意識しないといけないんだなと実感することが多くありました。

今回はワークショップに参加したメンバーがサポートしてくれた大人の方や、また市内の小中学生の考えや意見がたくさんあって実現できた物だと思うし、逆に一人では難しかったと思います。だからこそ、団結力がとても大事だと感じました。

第三者の視点に目を向け意見を聞くこと、そして自分自身の発想や考えを人に伝えることの大切さを感じました。

自分だけでなく、みんなの意見を入れること。

しっかり話し合うこと。

前向きな言葉を使うこと。

自分が思っていることを相手がわかりやすく伝えるとコミュニケーションがうまくいくと思う。

みんなと仲良く色々なことを相談し合うこと。

誰か1人のために決めるのではないので、みんなに伝わる宣言でないと意味がないということがわかった。また南城市で起きている問題を重要視していて、知らなかった問題が出てきてびっくりした。

自分の考えだけじゃなくて、いろんな意見を取り入れ考えをふくらませていくことが大事だと感じました。

こどものまち宣言に沿った内容で意見を出し、協力すること。



### ③宣言づくりで宣言したことを実現するために大切になってくると思うこと

南城市に住む子どもたちへのアピールを通してみんなにやる気と希望を持たせること。

宣言をたくさんの人に知ってもらい、協力し一体化することが、実現するための大切なことだと思います。

大人だけ、子どもだけでなくみんなが宣言を実現しようとするのが大切になると思います。

個人個人がこの宣言を意識して行動していくことが大切だと思います。

ゴールである形をスタートの段階で目指すのではなく、この「まち」を実現するための準備として、今できることから目指していけば、長期的でも必ず実現できるのかなと思います。

まずは自分の意識や行動から変えていくこと、そして南城市の子どもたち1人1人が強い意志を持って行動することだと思います。そのために各学校や人が集まる所、目立つ場所に掲示するのもいいなと思いました。

1つ1つの言葉の意味を考え、受け止め、普段から意識することだと思います。

みんなに知ってもらって声に出すこと。

みんなが宣言を実現しようと思って自分に何ができるのか探すこと。

みんなの暮らしが良くなるといいなと思って、自分に何ができるかを考えること。

自分だけ大切にしても意味がないので、周りの人にも同じことを伝えながら大切にしていくと実現するのではないかと思う。

自分も含め、1人1人が宣言したことを日々の生活で意識していくことや、いろんな人にこの宣言を広めていくことが大切になってくると思います。

南城市のみんなにこの宣言を知ってもらうこと。



#### ④宣言で宣言したことを実現するために自分でできること

学力の向上とまわりの友人と切磋琢磨し心と体をきたえ一步一步着実に成長していくこと。

今回のワークショップのことをいろいろな人に知ってもらう。

宣言したことのお手本となるように活動する。

友人や家族に宣言を広め、みんなで頑張っていこうと意思表示をすること。

この7つの宣言を頭に入れ、この宣言に反しないような行動をしたい。

大人の方がより積極的に考えてくださるように、子どもの私たちから意欲を示したり、南城市の問題にも目を向けたり、身の回りのことから行動に移していこうと思います。

常に宣言の言葉を心に留め、まずは自ら行動していきたいです。そして、友だちやまわりの人たちにも発信していき、南城市を宣言のようなまちにしていけたらなと思います。

何にでも挑戦する気持ちを持ち、前向きに取り組み、人の意見に耳を傾けること。

また、ポイ捨てをせずに自然を大切にすることです。

みんなに教えてあげる。

宣言したことを考えながら生活する。

自ら行動し、みんなに伝えることで南城市全体で実現されていくと思う。

困っていそうな人に声をかけたりすること。

前の質問でも書いたとおり、周りの人にも南城市の問題をしっかりと理解してもらい、そのために何ができるか考えることが私たちにできることだと思う。

宣言で考えたことを日々の生活で実行するようにし、多くの人に知ってもらうようにすること。

みんなで作ったこのこどものまち宣言を覚えておくこと。



# 南城市の子どもを取り巻く現状とニーズの把握

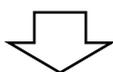
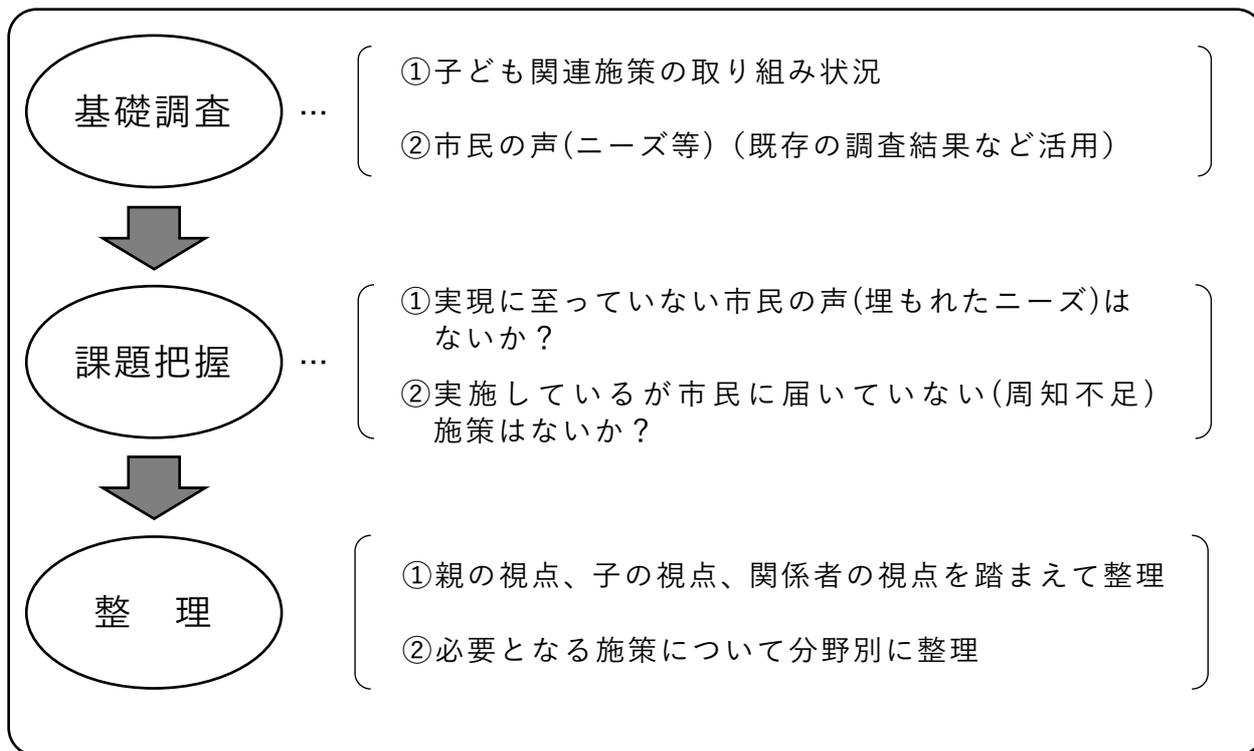
～令和元年度ニーズ調査について～

## 1. 令和元年度ニーズ調査の概要

### (1) 令和元年度に実施したニーズ調査の目的

本市では、0～18歳未満のすべての子どもに向き合い、まちのみんなで力を合わせ、一人ひとりに寄り添いながら子どもを育てる優しいまちづくりを目指すため、「こどものまち推進プラン」（こどものまち宣言を含む）を策定します。策定に向けて、本市で実施している子ども関連施策の取り組み状況や市民ニーズ等を把握し、子どもたちのために必要とされている取り組みの分析を行いました。

### (2) ニーズ調査の流れ



一人ひとりに寄り添いながら子どもを育てる優しいまちづくり

## 2. 具体的な基礎調査方法

### (1) 統計データ

子どもや子育て家庭を取り巻く情勢を広く把握するため、統計資料等による基本情報をまとめました。

	主 内 容
統計データの収集・整理	・ 児童人口推移、子を産む世代の人口推移、人口動態、世帯構成、合計特殊出生率、女性の就労率等

### (2) 市民の意見・要望

#### ① 過去のアンケート調査結果より

これまで本市が実施した子ども関連のアンケート調査、その他関連するアンケート調査の結果から、子どもや保護者等の声をまとめました。

	主 内 容
子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果を活用（就学前児童保護者、小学生保護者）	・ 平成 25 年度及び平成 30 年度実施の調査結果より、ニーズの掘り起こし
次世代育成支援行動計画策定時のアンケート調査結果を活用（就学前児童保護者、小学生保護者、中学 2 年生、高校生(16 歳)）	・ 平成 22 年度実施の調査結果より、現在のニーズとの違いの確認 ・ 中高生への調査結果の集計確認
その他の関連するアンケート調査結果を活用	・ 児童福祉分野以外の調査結果より実態やニーズの把握（南城市既存データ） 1. 第 2 次南城市総合計画（中学生調査／H29） 2. 人口ビジョン・創生戦略（市民意向調査／H27） 3. 公共交通再編（小中高生調査／H29） 4. 全国学力・学習状況調査（児童生徒調査 小 5、中 2／H31） 5. 第 3 次南城市障がい者計画（18 歳未満調査／H29） 6. 乳幼児健康診査（4 ヶ月児健診、1 歳 6 ヶ月児健診、3 歳児健診の問診集計／R 1） 7. ひとり親家庭への調査（児童扶養手当受給者／R 1） 8. 地域福祉についての調査（市内在住の 20～80 歳未満男女／R 1） 9. 年度・月別転入転出者数（H26～H30）

## ②小アンケートによる意見・要望

子どもや保護者の困りごと、市の将来への期待等について「小アンケート」を行い、子どもの声、保護者の声、関係者の声をまとめました。

### ■実施した小アンケートの対象

	小アンケートの対象	回収件数
子ども	小学生（市内の小中学校を通じて調査を実施）	206件
	中学生（市内の中中学校を通じて調査を実施）	132件
	高校生（近隣市町の高校を通じて調査を実施）	96件
子ども計		434件
保護者	妊娠・出産期の保護者（母子健康手帳交付時に調査を実施）	49件
	乳幼児期の子を持つ保護者（乳幼児健診時に調査を実施）	166件
	中学生の保護者（市PTA連合会及び企業への協力により実施）	28件
保護者計		243件
関係者	幼稚園、保育園、放課後児童クラブ等職員（園等を通じて調査を実施）	44件
合計		721件

## ③ヒアリングによる意見・要望

子どもや子どもと直接かかわりのある教育・福祉団体等へのヒアリングを行い、現場関係者の声をもとに、子どもや子育て家庭の現状や課題をまとめました。

### ■実施したヒアリングの対象

実施日	ヒアリング対象者・団体
令和元年10月19日	子育て支援課（家庭児童相談員、女性相談員、養育支援訪問員）
令和元年11月15日	子育て支援課（保育支援員、保育コンシェルジュ）、教育指導課
令和元年11月19日	子育て支援課（臨床心理士）
令和元年11月28日	市母子寡婦福祉会
令和元年12月4日	なんじいアスリートクラブ（☆小中学生へのヒアリング）
令和元年12月7日	南城市シュガーホールジュニアコーラス（☆小中学生へのヒアリング）
令和元年12月9日	市内子育て支援サークル等の運営者
令和元年12月10日	F M南城（市コミュニティFM放送）
令和元年12月11日	N P O わくわくふれんど（発達障がい児・者を支援する市民団体）
令和元年12月12日	市内小中学校養護教諭
令和元年12月12日	スクールソーシャルワーカー、特別支援教育コーディネーター
令和元年12月20日	子どもの居場所等運営主体（つきしろ子ども食堂、市社会福祉協議会）
令和元年12月20日	親子通園事業所、障がいを持つ子ども向けの学習塾

実施日	ヒアリング対象者・団体
令和2年1月7日	子どもの居場所づくり事業 運営主体（（一社）とみ会）
令和2年1月9日	主任児童委員
令和2年1月10日	なんじい子どもプロジェクト
令和2年1月10日	児童養護施設 島添の丘

#### ④関連計画策定時の議事録の確認

過去の子ども関連計画策定時の議事内容を確認し、会議での意見・要望をまとめました。

##### ■把握対象議事録（子ども関連計画）

- ・次世代育成支援行動計画（後期計画・平成22年度）
- ・子ども・子育て支援事業計画（第1期計画・平成25年度、平成26年度）
- ・子ども・子育て支援事業計画（第2期計画・平成30年度、令和元年度）

#### (3)子ども関連施策の実施状況（市の事業・施策）

現在、本市が実施している子ども関連施策を洗い出し、事業・施策の分類やライフステージごとに現状や課題をまとめました。

子ども関連施策については各課ヒアリングを行い、取り組み状況や課題の確認とともに、改善策や今後の展開等について意見交換を行いました。

#### (4)先進的取り組みの調査及び県外視察の実施

本市の抱える各種の課題解決に向けた施策検討にあたり、他市町村の先進的な取り組みについて情報収集を行いました。また、情報収集した中から、実施状況や立ち上げの経緯、地域の巻き込み方、現状等を確認するため、視察(東京都三鷹市、東京都町田市、東京都世田谷区、神奈川県大和市)も実施しました。



### 3. ニーズ調査で把握された現状・課題やニーズ

#### (1) 児童人口や子育て家庭などの状況

##### 児童人口等(令和6年までの推計)

○18歳未満の児童人口は合併後、増加している。

○0～5歳児の就学前児童人口は増加から横ばいに転じていくと見込まれる。(0歳児が減少傾向となっているため)

○小学生は令和6年まで伸びると見込まれるが、就学前児童人口の増加が伸び悩むことで、その後は減少に転じると予測される。

○中高生については、小学生で増加していた人口が次第に中高生の年齢に達するため、増加が見込まれる。

○18歳から29歳までの若い世代は減少傾向にある。

○子を産む世代となる「若い世代」の減少のうち女性が減少した場合、出生数が伸びず、子どもの数の減少にもつながっていく。

・若い世代が将来も本市に住み続けたいと感じる、魅力あふれるまちづくりを進め、本市への定住を図ることが必要です。

##### 子育て家庭の状況

○子どものいる世帯では、共働きの割合が8割を超えている。  
(保育ニーズの増加にもつながる)

○現在、専業主婦の方で今後は働きたいという声を含めると、将来的には共働き家庭が9割を超えることが予測される。

○市外から転入してきた子育て家庭は半数程度を占めている。  
(身近に支援者がいない状況も考えられることから、子育てを支援する環境づくりも必要)

・子育て家庭が住みよい南城市であるようにまちづくりを進めることが必要ですが、その条件の一つとして、保育対策(待機児童対策)や子育て支援の取り組みが求められています。

## (2)多くあげられた意見・要望

### ①子ども・保護者の意見・要望

#### ■子どもや保護者から多い声

- ・公園の整備・充実
- ・道路・交通の充実
- ・待機児童の解消
- ・図書館の整備
- ・南城市の「自然豊か」、「ゆっつりのんびり」、「都会過ぎない」ところが良い
- ・15歳～21歳の「学生」では南城市に住み続けたいという回答が多い
- ・25歳～39歳の「既婚」では、南城市に住み続けたいという回答が多い
- ・22歳～34歳の「未婚」では南城市から転出したいという回答が多い

- ・ **要望としては**、公園の整備・充実、道路・交通の充実、待機児童の解消、図書館の整備を望む声が多いです。
- ・ **南城市の良いところとしては**、「自然豊か」、「ゆっつりのんびり」、「都会過ぎない」という声が多いです。

### ②関係者や団体の意見・要望

#### ◆関係者ヒアリングからあげられた声・状況

- ・行政や関係機関の「つながり(連携)」の不足
- ・子育て家庭が気軽に行きやすい交流の場(子育てサロン等)の確保
- ・子どもが多く体験機会や大人と出会う機会を持つことが必要
- ・発達面で気になる子への支援体制充実及び周囲の理解
- ・中高生のための支援強化(低所得世帯の子への交通費助成、無料学習塾開設等)
- ・中学校卒業後の子どもたちの居場所や支援が必要

- ・関係者へのヒアリングでは、関係課、関係機関、関係団体など、様々なところで「**つながり(連携)**」の不足が感じられました。連携を強化することで、効果的・効率的な施策展開が可能となります。

### (3) こどものまち推進プランの策定に向けて

今回の調査でライフステージごとにまとめた「市の課題」や「市民が求める市の姿」について、以下のようにキーワードで整理しました。これを「12の鍵」と呼び、こどものまち推進プラン検討の基礎としています。

市の課題 (必要となっていること、市民が求める市の姿)		キ ー ワ ー ド で 整 理 ！	12の鍵 (12のキーワード)	概 要
1	☆自然がいっぱい、都会的ではないところ、ゆったりのんびりしているところ (各種調査で把握された市民が抱く本市の良いところ)		(1)自然・地域環境	(本市の良いところ) ・自然が残っている ・ゆったりと過ごせる ・都会すぎないところ ・地域のつながりが残っているところ
2	・公園の整備・充実		(2)遊び場	・公園の整備・充実 子ども主体や子どもと大人共同による公園づくり
3	・歩道の整備 ・公共交通機関の充実		(3)道路・交通	・歩道の整備 (歩道整備・修繕、草刈) ・公共交通機関の充実
4	・子どもを取り巻く関係者同士の交流会の実施 ・青年会や若い世代を中心とした地域のつながりづくり ☆関係課のつながり(ヒアリング等を通じて各種施策で全体的に必要)		(4)つなぎ・つながり	・関係課や関係機関等の連携充実 ・地域のつながりの充実
5	・親子で参加するイベント機会等の確保 ☆自己肯定感を高めるための取り組みの検討 (成功体験の機会づくり/中学生の“自己肯定感が低い”調査結果を受けて)		(5)体験機会・人材を育てる	・子どもへの様々な体験機会の提供 ・自己肯定感向上につながる機会づくり ・子どもの参画機会創出による人材育成
6	・子育て家庭の交流機会の確保(子育てサロン等)		(6)子育て世帯の孤立防止	・子育て世帯への各種相談 ・子育て世帯の交流機会の提供・紹介
7	・子どもの貧困対策 (公民館を活用した居場所づくり) ・発達支援のための人材確保 ・作業療法士を活用した気になる子への支援 ・発達面で気になる子の放課後等の居場所づくり		(7)誰一人取り残さないために (貧困、発達支援)	・貧困対策 (子どもの居場所づくり) ・発達支援の連携体制強化
8	・不登校に対応するためのサポート人材確保 ・不登校児の居場所づくり ・高校中退者等の居場所づくり		(8)青少年の居場所	・適応指導教室の充実 ・不登校児等の居場所や学習支援の仕組みづくり
9	・高校生の健康保持・増進 ・子育ての意識や知識を高める“親育ち”の支援		(9)健やかな心と体	・高校生以上への生活習慣病予防の取り組み検討 ・「親育ち」の推進
10	・図書館の整備や充実		(10)図書館・人が集まる場づくり	・図書館の整備・充実 ・学習スペースの確保 ・「子育て世代」が訪れやすい場づくり
11	・待機児童の解消 ・妊娠出産や子育てに関する職場の理解と環境改善 ・子育ての意識や知識を高める“親育ち”の支援 ・親子で参加するイベント機会等の確保		(11)子育てしやすく	・待機児童対策 ・子育てに関する職場の理解啓発促進 ・親育ちの推進 ・親子で参加する機会確保 ・子育て支援施策全般
12	☆若者の定住 (若い世代が減少している統計データより) ・雇用の場の確保	(12)若者の定住	・定住支援策の実施 ・雇用の場の確保	

※ ☆ = 市民からの要望ではないが、調査結果を取りまとめる中で必要性が感じられた事項

#### (4) 「12の鍵」(12のキーワード)別のポイント

##### ①自然・地域環境

調査より	推進プランに向けて
<p>○本市の良いところは、「自然が残っているところ」、「ごみごみしておらず、ゆったりと過ごせるところ」、「今も地域のつながりが残っているところ」。(特に子どもから)</p> <p>○若い世代で本市へのUターンを考える理由としては、自然環境や地域のつながり、都会すぎないということ等があげられている。</p>	<p>○本市の自然や地域環境の維持が求められていることから、「ゆっくりと過ごせる地域づくり」、「地域のつながりの中で子どもを育てていく」を意識した施策展開の検討が必要。</p>

市民が南城市の良いところと感じている「自然環境」や「地域環境」を活用した施策展開が必要！

##### ②遊び場

調査より	推進プランに向けて
<p>○子どもや保護者から望まれていることとして、「公園の整備・充実」が多い。</p> <p>例) 大きな公園、身近な公園、雨の日に遊べる場所等</p> <p>○子どものライフステージに応じた公園や多世代が集える公園が必要。</p>	<p>○公園を新規整備するだけでなく、「子どもが作る、地域で作る」という視点も取り入れた検討が必要。(子どもと大人とのつながり、公園づくりという体験機会にもなる)</p> <p>○本市の自然や地域環境・資源を活用した自然体験の機会となる遊び場の確保の検討も必要。(市民は自然環境を市の良いところにあげている)</p>

「遊び場づくり」を子どもたちが体験していくという視点を取り入れることが必要！

##### ③道路・交通

調査より	推進プランに向けて
<p>○バス等の公共交通機関について更なる充実を求める声がある。</p> <p>○道路環境については、道路(歩道)がデコボコしている、草木が歩道に倒れ込んで歩きにくいなどの声がある。</p>	<p>○道路や歩道の草刈等については、行政実施のほか、地域の「つながりづくり」の一環として、子ども、大人、企業、団体も一緒に行くなど、地域ぐるみで取り組む仕組みづくりの検討も必要である。</p> <p>○安全な道路環境づくりとして、本市では今後「キッズゾーン※」の制定を予定している。</p>

※「キッズゾーン」：保育施設周辺の道路でドライバーらに園児への注意喚起など重点的に対策を講じる地域のこと。主に小学校周辺に設定された既存の「スクールゾーン」に準じる安全対策の重点地域。

歩道の草刈りなどの環境整備も、子どもと大人(地域)が共に参加する「つながり」の仕組みづくりが必要！

#### ④つなぎ・つながり

調査より	推進プランに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係課や関係機関・団体等のそれぞれの取り組みは十分に行われているものの、つながりの不足が見られる。</li> <li>○関係課や関係機関・団体自体も、連携不足やつながりの重要性を感じている。</li> <li>○地域のつながりが希薄になっているという声があった。</li> <li>○小中学生の地域行事への参加率は小学生で7割半ば(沖縄県5割程度、全国7割弱)、中学生で約5割(沖縄県5割程度、全国4割程度)となっており、全国平均や沖縄県平均より高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係課や関係機関の定期的な情報共有機会等を持ち、それぞれの取り組みを理解し、つながりやすい環境づくりを進める必要がある。</li> <li>○情報共有を図るには、政策を調整するコーディネート機能の更なる強化が必要。</li> <li>○「つなぎ・つながり」のなかには、行政内のみならず、関係団体、地域、市内企業等も含まれる。本市の子どもたちの将来のために、様々な取り組みが展開される仕組みづくりが必要。</li> <li>○地域のつながりづくりを推進するにあたっては、「地域の支え合いの仕組み」(南城市地域福祉計画より)や、導入を検討している「コミュニティ・スクール」などを活用したつながりづくりが考えられる。</li> </ul>

行政内及び関係機関や団体などの、子どもを取り巻く大人たちのつながり強化が必要！

#### ⑤体験機会・人材を育てる

調査より	推進プランに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「子どもの可能性を伸ばすために様々な体験機会が必要」、「体験機会をたくさん持たせたい」という声があった。</li> <li>○子どもの声では、「普段体験できないことをしてみたい」という声があった。</li> <li>○自己肯定感は、小学生より中学生で下がるほか、中学生では全国より低くなっている。(小学生では79.9%(県78.1%、全国81.2%)、中学生では62.2%(県70.9%、全国74.1%))</li> <li>○「未来志向意識」や「共同作業による達成感」も、中学生で全国より低い傾向がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの頃の様々な体験・達成感の積み重ねが自己肯定感を高めていく。すべての大人、関係機関等が意識的に体験機会を提供する必要がある。</li> <li>○行政においては、「子どもの参画」に視点を置いた体験機会も子どもの成長のために効果的である。(児童館運営に子どもも関わる等)</li> <li>○子どもたちの意見をうまく拾い上げるために、子どもたちに関わる行政職員等のファシリテーション能力を高めることが必要。</li> </ul>

自己肯定感を高める視点や子どもの参画といった視点での体験機会づくりが必要！



## ⑥子育て世帯の孤立防止

調査より	推進プランに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者が虐待のおそれや育児不安、育てにくさを感じる時期は、乳児期よりも3歳児前後が比較的高くなっている。</li> <li>○子育てで孤立を感じている保護者の割合は就学前児童保護者で27.9%となっている。</li> <li>○身近に相談者がいないと孤立を感じる割合が高いことも確認されており、相談先の有無が重要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3歳前後で育児不安等が多くなることを意識し、保護者へのアプローチを行うとともに、3歳児健康診査の未受診について受診勧奨や訪問を行い、保護者とのつながりを構築することも重要。</li> <li>○子育て家庭に寄り添いながらの相談支援や養育支援事業から、地域子育て支援センター、子育てサロンといった交流機会や相談機会につなげ、子育て世帯が孤立しないように引き続き強化が必要である。</li> <li>○市内のインフォーマルサービス(個人で実施している子育てサークル等)の情報も得ながら、交流の場を紹介するなど、ネットワーク強化も必要である。</li> </ul>

子育て世帯の孤立防止のため、交流機会及び相談機会の確保や紹介などが必要！

## ⑦誰一人取り残さないために

調査より	推進プランに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの貧困対策については、居場所の確保や食事支援、無料または低額での学習塾などが求められている。</li> <li>○居場所については、「公民館を活用するなど地域の実情にあわせた居場所づくりが必要」という声があった。</li> <li>○発達支援については、「幼少期からの発達面の把握と関係機関の連携」、「発達支援の人材の確保」、「発達面で気になる子の居場所づくり」などが必要であるという声があった。</li> <li>○作業療法士の活用で効果的な支援を行っている事例もあり、本市でも作業療法士の活用を検討してほしいという声があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの居場所づくりでは、学習と食事支援のほかに生活改善の指導や共同での作業や生活を体験することも重要である。また、保護者への自立支援を併せて行っていくことも必要である。</li> <li>○市内では個人で子ども食堂などを行っているインフォーマルな取り組みもあり、こういった取り組みとのネットワークを作る必要がある。</li> <li>○コミュニティ・スクール構想を検討する際には、学習支援や学び直ししやすい環境・体制づくりを進める必要がある。</li> <li>○発達支援については、現在の早期発見・早期支援とともに、作業療法士の活用、障がい児通所支援(障がい児サービス)、市内の関係団体とも連携しながら、発達障がい児の支援や保護者支援を進める必要がある。</li> </ul>

子どもの貧困対策では地域の実情にあわせた居場所づくり、発達支援では作業療法士の活用などが必要！

## ⑧ 青少年の居場所

調査より	推進プランに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○高校に進学しない子(中退者含む)の居場所が必要という声があった。</li> <li>○高校に進学しない子(中退者含む)のその後について、居場所を確保し、活動機会を設けていく等検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中高生の居場所または不登校児の居場所として、既存施設における空きスペース活用や地域企業及び社会福祉法人等の協力を得ながら場所を確保して活動の場としていくことも必要である。</li> <li>○引きこもらずに社会とふれあっていく機会を設けることにより、青少年の活動機会や不登校児のための自立を支援する取り組みが必要と考えられる。</li> </ul>

高校に進学しない子(中退者含む)、不登校児も含めた青少年の居場所づくりが必要！

## ⑨ 健やかな心と体

調査より	推進プランに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの夕食について見ると、高校生では夕飯を外で食べる割合が中学生よりも高くなっている。また、部活などのために夕飯はコンビニで済ますという声があった。</li> <li>○乳幼児健診の間診では、妊娠中でも喫煙している保護者がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防健診と保健指導については、現在実施している中学生への生活習慣病予防健診・保健指導の強化や、高校生以上への周知・啓発も検討する必要がある。</li> <li>○保護者の生活スタイルが、子どもの生活スタイルに影響を与えるものであり、「親育ち」の観点からも、子どもの育ちや成長を優先した生活スタイルを啓発する必要がある。</li> <li>○母子健康手帳交付時や、各種健康相談等においても子育てについての意識啓発は実施しているが、今後も継続し、強化していくことが必要である。</li> </ul>

子どもの成長を優先した生活スタイルや子どもたちに対する生活習慣病予防の取り組み等を充実させることが必要！

## ⑩ 図書館・人が集まる場づくり

調査より	推進プランに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館の整備・充実については、平成22年度の次世代育成支援行動計画策定時からニーズがあった。</li> <li>○図書館への要望では、現在ある市内4つの図書館では「蔵書が少ない」、「読みたい本がない」、「学校の図書室を充実して欲しい」という声がある。また、「図書館で勉強したい」という、学習スペースとしてのニーズもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館の整備の際には、「子育て世代」が利用しやすい工夫が必要。(子どもの遊び場、保育室、育児相談室を施設内に設けるなど)</li> <li>○子どもと子育て家庭にやさしい施設として、また、子育て家庭のふれあいや交流機会の場ともなるような視点が必要。</li> </ul>

人が集まる場づくりにおいては、「子育て世代」が利用しやすい工夫が必要！



## ⑪子育てしやすく

調査より	推進プランに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て世代からは、10年前より待機児童対策や児童館の未整備地域への整備などが求められている。</li> <li>○子育て支援関係者からは、「保護者の生活スタイルが子どもに影響を与えている」、「子育ての意識・知識を向上させる“親育ち”が必要」、「保護者が子どもと過ごす時間をもっと多く取ってほしい」という声があった。</li> <li>○近年は共働き家庭の増加もあり、「出産や育児についての職場の理解」を求める声が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○待機児童の解消や児童館の充実については、「第2期南城市子ども・子育て支援事業計画(以下、「第2期計画」という。)」(令和2年度～令和6年度)で掲げて取り組んでいく。</li> <li>○第2期計画には掲げていない「親育ち」の視点で保育施設等と連携した子育て支援に取り組んでいく必要がある。</li> <li>○「親子が共に過ごす」視点では、今後、親子参加型の行事やイベントを行っていくことも必要である。その際には、地域や市内企業とも連携しながら、趣向を凝らした内容を検討することが必要である。</li> <li>○「子育てについての職場の理解」の視点では、出産や育児への職場の理解及び男性の働き方の見直しなど、生活と仕事との調和を進めるワークライフバランスの普及啓発に努める必要がある。</li> <li>○企業も一体となって、子どもや子育て家庭にやさしい環境づくりについて考え、取り組んでいけるようにワークショップ等の機会を設けていくことも必要である。</li> </ul>

待機児童対策のほか、親子が共に過ごす機会づくりや、子育てについての職場の理解啓発といった取り組みが必要！

## ⑫若者の定住

調査より	推進プランに向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>○18～29歳までの若い世代では、人口減少が見られる。女性は15～49歳が子を産む世代と言われているが、本市では25～34歳までが最も子を産む世代に当たる。</li> <li>○子を産む世代が本市に定住し、または一度転出したとしてもいづれ戻ってきたくなるような魅力あるまちづくりが必要である。</li> <li>○県外や都市部に転出した若い世代に、「南城市に戻りたいと思わない」理由を尋ねると、「市内に働く場所が少ないから」という回答が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若い世代が本市で子育てしたいと思えるまちにするため、子育て支援施策の課題解決が必要である。(待機児童の解消など)</li> <li>○調査では「雇用の場がない」ために南城市に戻りたいと思わないという声があり、今後も雇用創出を推進する必要がある。</li> </ul>

子育て支援対策や雇用の場の確保を推進することで、若い世代の定住を図ることが必要！



---

## 4. 求められている未来像

---

今回の調査では、どの世代においても、本市の自然環境の良さやのんびりと暮らせる地域性を残したいという声が多いほか、地域のつながりや文化を残していきたいという声もありました。また、子どもたちの体験機会の充実、人と人との出会いやつながり、公園等遊び場の充実、待機児童の解消等の子育て支援も求められています。

このように、「自然あふれる地域環境がある」、「都会過ぎない“郊外の良さ”がある」、「子どもが多くを体験・経験できる機会がある」、「南城市に定住する・戻ってくる」、「地域の人と人がつながっている」、「子育てがしやすい」という点が、子どもや子育て世代のために求められている未来像であり、この実現のために家庭、地域、企業、行政がそれぞれの役割を意識し、一体となってまちづくりに取り組んでいくことが重要です。



## 南城市の子ども関連施策一覧 ～本市の既存事業～

本市が取り組んでいる「子ども関連施策」について、分類ごとに現状と課題の整理を行いました。分類については以下の14項目に振り分けています。

### ◆子ども関連施策の分類

①公園・遊び場関連	⑥交通・交通安全関連	⑪保育サービス関連
②体験活動関連	⑦障がい児(発達支援)関連	⑫子どもの貧困対策関連
③学校教育関連	⑧相談関連	⑬ひとり親家庭支援関連
④手当・奨学金関連	⑨情報提供関連	⑭定住支援関連
⑤健康保健関連	⑩子育て支援関連	

各分類とも、多くの子ども関連施策を実施しています。また、子ども関連施策の中には、それぞれの施策が連携することで効果が期待できるものもあります。施策によっては、対象が市民全般であったり、複数のライフステージを対象としている取り組みがあり、一概に子どもを中心とした視点で推進することが難しい施策も見られました。

以下は、令和2年度時点での子ども関連施策一覧です。

※各施策に該当する「12の鍵」については、以下のように短縮表記しています。

1自 → 1 自然・地域環境	7 誰 → 7 誰一人取り残さないために(貧困、発達支援等)
2遊 → 2 遊び場	8 青 → 8 青少年の居場所
3道 → 3 道路・交通	9 健 → 9 健やかな心と体
4つ → 4 つなぎ・つながり	10図 → 10 図書館・人が集まる場づくり
5体 → 5 体験機会・人材を育てる	11子 → 11 子育てしやすく
6孤 → 6 子育て世帯の孤立防止	12若 → 12 若者の定住

関係課	事業・施策等名称	分類	対象ライフステージ								12の鍵												備考			
			妊	乳	幼	小	中	高	若	1自	2遊	3道	4つ	5体	6孤	7誰	8青	9健	10図	11子	12若					
税務課	租税教室	体験活動関連				○								○												
まちづくり推進課	上がり太陽プラン事業	体験活動関連					○							○												
企画課	南城市地域公共交通再編事業	交通・交通安全関連		○	○	○	○	○	○				○													
企画課	南城市三世帯同居支援補助金	定住支援関連		○	○	○	○	○	○															○		
企画課	おでかけなんじい(デマンドバス)未就学児無料	手当・奨学金関連		○	○								○											○		
情報推進課	広報誌での子ども情報コーナー	情報提供関連	○	○	○	○	○	○																○		
市民課	児童手当・特例給付の支給	手当・奨学金関連		○	○	○	○																	○		

関係課	事業・施策等 名称	分類	対象ライフステージ							12の鍵												備考	
			妊	乳	幼	小	中	高	若	1 自	2 遊	3 道	4 つ	5 体	6 孤	7 誰	8 青	9 健	10 図	11 子	12 若		
市民課	子ども医療費助成	手当・奨学金 関連		○	○	○	○													○			
市民課	未熟児養育医療 給付	手当・奨学金 関連		○																		○	
生活環境課	交通安全街頭指導	交通・交通安全 関連				○	○					○											
生活環境課	交通安全広報活動	交通・交通安全 関連			○	○	○	○	○			○											
国保年金課	出産育児一時金	手当・奨学金 関連	○																			○	
健康増進課	妊婦健康診査事業	健康保健関連	○																			○	
健康増進課	母子保健事業	健康保健関連	○	○	○									○								○	
健康増進課	乳幼児精密検査	健康保健関連		○	○																	○	
健康増進課	予防接種事業	健康保健関連		○	○	○	○															○	
健康増進課	中学生の生活習 慣病予防健診	健康保健関連					○															○	
健康増進課	母子栄養強化事業	健康保健関連	○	○																		○	
健康増進課	離島地域出産 支援事業	健康保健関連	○																			○	○
健康増進課	なんじょう子育て 応援アプリ「母子モ」	情報提供関連		○	○	○	○																○
健康増進課	母子保健に係る 相談業務	相談関連	○	○	○								○		○	○							○
健康増進課	産婦健康診査	健康保健関連	○																			○	
健康増進課	産後ケア事業	健康保健関連	○	○																		○	
健康増進課	母子健康包括 支援センター	健康保健関連	○	○	○									○								○	○
子育て支援課	児童館運営活動費	公園・遊び場 関連		○	○	○	○	○				○		○									
子育て支援課	母子父子寡婦 福祉資金の貸付	ひとり親家庭 支援関連		○	○	○	○	○	○						○								
子育て支援課	地域子ども子育て 支援交付金事業	子育て支援関連		○	○																		○
子育て支援課	養育支援訪問事業	相談関連 子育て支援関連	○	○	○									○		○							
子育て支援課	助産費扶助事業	手当・奨学金 関連	○																				○
子育て支援課	ファミリーサポート 事業	子育て支援関連		○	○	○																	○
子育て支援課	障害児保育補助 事業	障がい児(発 達支援)関連		○	○										○								
子育て支援課	特別児童扶養 手当事業	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○	○						○								
子育て支援課	あなたと子のしおりの 配布	情報提供関連	○	○	○	○	○	○							○								○
子育て支援課	子どもの居場所 運営支援事業	子どもの貧困 対策関連			○	○	○	○							○								
子育て支援課	家庭児童相談事業	相談関連		○	○	○	○	○	○						○								
子育て支援課	女性相談事業	相談関連	○	○	○	○	○	○	○						○								

関係課	事業・施策等 名称	分類	対象ライフステージ							12の鍵												備考
			妊	乳	幼	小	中	高	若	1 自	2 遊	3 道	4 つ	5 体	6 孤	7 誰	8 青	9 健	10 図	11 子	12 若	
子育て支援課	市内認可外保育施設へ通う園児の健診	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	市内認可外保育施設へ通う園児の給食費・事務費など補助	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	市内認可外保育施設の認可化移行施設の運営費補助	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	親子通園事業	障がい児(発達支援)関連		○	○										○							
子育て支援課	ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用料補助事業	ひとり親家庭支援関連				○									○							
子育て支援課	児童扶養手当事業	ひとり親家庭支援関連		○	○	○	○	○							○							
子育て支援課	母子及び父子家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭支援関連		○	○	○	○	○	○						○							
子育て支援課	母子家庭等自立支援給付金事業	ひとり親家庭支援関連						○							○							
子育て支援課	ひとり親家庭等認可外保育施設利用料補助事業	ひとり親家庭支援関連		○	○										○							
子育て支援課	母子家庭等日常生活支援事業	ひとり親家庭支援関連						○							○							
子育て支援課	保育士試験受験者支援事業	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	保育所等整備交付金事業	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	保育所等改修費等支援事業	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	保育所等業務効率化推進事業	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	法人保育園等運営費	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	利用者支援事業	相談関連		○	○															○		
子育て支援課	放課後児童健全育成事業等	保育サービス関連				○														○		
子育て支援課	一時預かり事業(幼稚園型)	子育て支援関連			○															○		
子育て支援課	認可外保育施設研修事業	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	認可外保育指導監督基準達成・継続支援事業	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	認可外保育施設の衛生・安全対策事業	保育サービス関連		○	○															○		
子育て支援課	正規雇用化促進事業	保育サービス関連		○	○															○		

関係課	事業・施策等 名称	分類	対象ライフステージ							12の鍵												備考
			妊	乳	幼	小	中	高	若	1 自	2 遊	3 道	4 つ	5 体	6 孤	7 誰	8 青	9 健	10 図	11 子	12 若	
子育て支援課	保育対策強化事業	保育サービス 関連		○	○															○		
子育て支援課	保育補助者雇上 強化事業	保育サービス 関連		○	○															○		
子育て支援課	保育士宿舎借り上 げ支援事業	保育サービス 関連		○	○															○		
子育て支援課	保育士年休取得 等支援事業	保育サービス 関連		○	○															○		
子育て支援課	保育士休憩取得 等支援事業	保育サービス 関連		○	○															○		
子育て支援課	保育士特別配置 等支援事業	保育サービス 関連		○	○															○		
子育て支援課	放課後児童支援 員等資質向上研 修事業	保育サービス 関連				○														○		
子育て支援課	子育てMAP作製	情報提供関連	○	○	○	○	○	○												○		新規
子育て支援課	子育て広場の実施	子育て支援関連	○	○	○							○		○						○		新規
子育て支援課	子育て講座の実施	子育て支援関連		○	○							○		○								新規
子育て支援課	作業療法士による 巡回指導	障がい児(発 達支援)関連		○	○							○			○							新規
子育て支援課	おでかけ児童館の 実施	公園・遊び場 関連	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○				○		新規
社会福祉課	生活困窮世帯の 子どもに対する学 習・生活支援事業	子どもの貧困 対策関連			○	○	○								○							
生きがい推進課	障害者手帳等交付	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○	○						○							
生きがい推進課	障害福祉サービス 提供	障がい児(発 達支援)関連			○	○	○	○	○						○							
生きがい推進課	障害児通所支援 給付事業	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○							○							
生きがい推進課	重度心身障害者 (児)医療費助成	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○	○						○							
生きがい推進課	自立支援医療 (育成医療)	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○							○							
生きがい推進課	自立支援医療 (精神通院)	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○	○						○							
生きがい推進課	障害児福祉手当	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○	○						○							
生きがい推進課	補装具費支給制度	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○	○						○							
生きがい推進課	日常生活用具給付 事業	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○	○						○							
生きがい推進課	軽度中等度難聴児 補聴器購入費助成 事業	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○							○							
生きがい推進課	心身障害者扶養 共済制度	障がい児(発 達支援)関連		○	○	○	○	○	○						○							
都市建設課	緑地・公園の再整備 計画策定	公園・遊び場 関連	○	○	○	○	○	○	○	○			○							○		
施設整備課	公園の適正管理	公園・遊び場 関連	○	○	○	○	○	○	○	○										○		

関係課	事業・施策等 名称	分類	対象ライフステージ							12の鍵												備考				
			妊	乳	幼	小	中	高	若	1 自	2 遊	3 道	4 つ	5 体	6 孤	7 誰	8 青	9 健	10 図	11 子	12 若					
教育部(教育総務課、教育指導課、生涯学習課、文化課)	南城市教育の日	学校教育関連			○	○	○						○													
教育総務課	離島高校生修学支援事業	手当・奨学金関連						○								○										
教育総務課	南城市育英会	手当・奨学金関連						○	○							○										
教育総務課	南部振興会奨学金	手当・奨学金関連						○								○										
教育施設課	教育施設の整備	学校教育関連			○	○	○											○								
教育指導課	学習支援員配置事業	学校教育関連				○	○									○										
教育指導課	特色ある学校づくり補助金	学校教育関連					○						○	○												
教育指導課	ICT支援員配置事業	学校教育関連				○	○							○												
教育指導課	就学援助事業	手当・奨学金関連				○	○									○										
教育指導課	沖縄子供の貧困緊急対策事業	子どもの貧困対策関連			○	○	○									○										
教育指導課	稲作体験学習事業	体験活動関連				○				○				○												
教育指導課	特別支援教育支援員配置事業	障がい児(発達支援)関連			○	○	○									○										
教育指導課	キャリア教育推進事業	学校教育関連				○	○							○												
教育指導課	英語教育推進事業	学校教育関連			○	○	○							○												
教育指導課	幼稚園教育推進事業	学校教育関連			○									○												
教育指導課	適応指導教室推進事業	学校教育関連				○	○									○										
教育指導課	特別支援教育支援事業	障がい児(発達支援)関連			○	○	○									○										
教育指導課	臨床心理士配置事業	障がい児(発達支援)関連			○	○	○						○			○										
教育指導課	教育相談員配置事業	学校教育関連 相談関連			○	○	○						○			○										
教育指導課	教育支援員(スクールサポートスタッフ)配置事業	学校教育関連				○	○																○			
文化課	尚巴志の紙芝居学校アウトリーチ事業	体験活動関連				○								○												
文化課	琉歌講座	体験活動関連					○							○												
生涯学習課	スポーツ・文化活動県内外派遣費補助事業	体験活動関連				○	○	○						○												
生涯学習課	スポーツ少年団及び各種スポーツ教室・大会に関する事業	体験活動関連				○	○	○						○												
生涯学習課	子育て支援ブックスタートアドバイス	子育て支援関連	○																				○			

関係課	事業・施策等 名称	分類	対象ライフステージ							12の鍵												備考		
			妊	乳	幼	小	中	高	若	1 自	2 遊	3 道	4 つ	5 体	6 孤	7 誰	8 青	9 健	10 図	11 子	12 若			
生涯学習課	中学生・高校生 海外短期留学事業	体験活動関連					○	○						○										
生涯学習課	ESLキャンプ プログラム事業	体験活動関連				○	○							○										
生涯学習課	中学生中国国際 交流派遣事業	体験活動関連					○							○										
生涯学習課	地域学校協働 活動推進事業	学校教育関連				○	○							○	○									
生涯学習課	スポーツツーリズム 推進事業 (サッカー教室)	体験活動関連				○								○										
生涯学習課	市立図書館運営	子育て支援関連 体験活動関連	○	○	○	○	○	○													○			



南城市こどものまち推進プラン

令和3年3月

発行：南城市 福祉部 子育て支援課

〒901-1495

沖縄県南城市佐敷字新里1870番地

TEL：(098)917-5343



